ボランティアセンター

みんなが人財。ひとりの知恵や得意が誰かのために…
童謡「めだかの学校」のように…誰が生徒か、先生か…
ボランティアじゃなくても、楽しめるだけで良い…
誰かの「やってみたい」を実現できる場所…
新たなつながりが生まれ、それが地域の力になる…

★かき氷を食べよう

ほのかな会企画。
夏はやっぱりかき氷！大盛況でした。

★ちりめん細工のストラップ作り

ちりめんの扱いに少し手間取ったけれど最後まで根気よく仕上げることができました。
かわいくできてみんな満足。

★けんちゃんカフェ

けんちゃんが企画&おもてなし。
口コミでたくさん来てくれました。

会場　中野ヴィレッジハウス
（東近江市東中野町 5-21）
毎週木曜日　10：00-16：00

編集後記

いつも見ていただいてありがとうございます。
『なかのがいいね』も７になりました。中野地区のお宝、人財、集いの場をさがして７年目になったということです。毎年同じような内容かなー、とも思いながらすこしづつその年ならではのトピックスを交えてお届けしてきたつもりです。うれしいことに、特にこちらから聞いたわけでもないのに「毎月近所の奥さんたちと食事会してるんやで」とか「同級生のお家で毎週おしゃべり会してるんよ」とかちょっと得意げにそしてうれしそうに打ち明けてくれるようになりました。取材してここに掲載されるのは勘弁だけど、あちこちでこういう何気ない集いの場があると思うし、どんどんふえてほしいな～と思います。

連絡先
中野地区社会福祉協議会（事務局：小島）
MAIL　Nakano4 l machi@outlook.jp

編集
認定特定非営利活動法人
まちづくりネット東近江

2026.03 発行

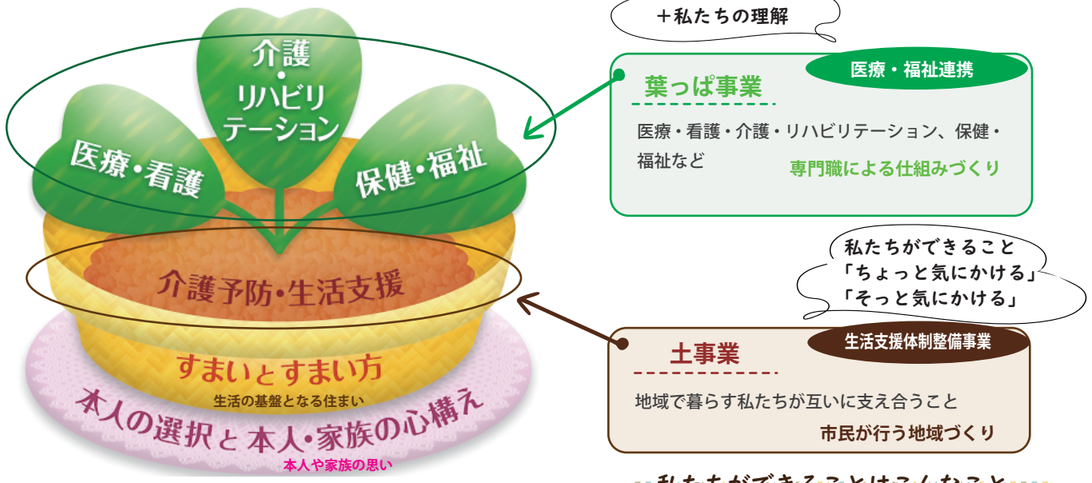
※この冊子は、東近江市生活支援体制整備事業の委託を受けて作成しています。

発見！地域のお宝

なかのがいいね 7

なかのよいまち推進会議／中野地区社会福祉協議会

みんなで力を合わせてやっていたいろいろな行事、昔は当たり前だったお裾分けや立ち話。
でも今は、家族の形も変わり、顔を見て声をかけ合うことも少なくなりました。
一人暮らしの方も増えています。
「何かあった時に気づいてもらえるかな？」という不安は、実はみんなが持っている共通の気持ちです。
高齢の方も、子どもも、障がいがある人も、「お互いさま」と「おかげさま」で混ざり合って暮らせる、そんな安心して暮らせるまち。
ひとりひとりが身近なところで「ちょっと気にかける」「そっと気にかける」の小さな積み重ねで、日常の安心を増やしていきましょう！
あなたの「ちょっと」が、誰かの「安心」になります。



＊この図は、厚生労働省が唱える地域包括ケアシステムの５つの構成要素、「住まい」を土台（基盤）として、「医療」「介護」「予防」「生活支援・福祉サービス」がその上に乗るような関係性を描いたものです。

私たちができることはこんなこと

- サロン・集いの場づくり
- 見守り・支え合い活動
- 専門職の方々との交流
- 地区ボランティアセンター

「まずは顔見知りになりましょう」

知らない人にいきなり「困っていることがあったら相談してくださいね」と言われても戸惑ってしまいますよね。
相談って言われても、知らない人には…。
だから、まずは「あいさつ」から。「雑談」から。
顔なじみの関係づくりから始めてみましょう。

「困ったら、助けを求めていい」

ひとりで解決するのが「自立」だと思われがちな世の中ですが、本当の安心は、誰かに頼れること、そして誰かに頼られた時に「なんとかしよう」と一緒に考えられることです。そこから始まるつながりが、誰かの、そしてあなたの支えになります。
「ちょっと困った」は、わがままではありません。
それは、私たちがもっと安心して暮らしていくための、大切なヒントなのです。

「誰かに話せたら」

専門のサービスが必要な時もあれば、ただ誰かに話を聞いてもらうだけで心がふっと軽くなることもあります。
この地域には、いろいろな人がいます。
あなたもその、大切な一人です。

「なかのよいまち 大en会」

中野地区の福祉のまちづくりを進めていくために、「見守り合い」「支え合い」「福祉」「保健」「介護」「医療」「子ども」などをテーマに、2019 年から年２回程度開催し、今年度で 14 回を数えました。2025 年度は「子どもたちと話そう」「福祉専門職の仕事を知ろう」まずは知ること、そして話しあって、他人事ではなく私たちのこととして、できそうなことを考える場となっています。専門職の方々も含めて、多くのみなさんが参加してくださいました。この en・縁を大切にしていきましょう。

第 13 回

子どもと大人が輪になって、ペアで聞きあうトークフォークダンス。未来を担う子どもたちに日ごろから思っていることややってみたことなどを聞きました。

第 14 回

中野地区に関わっている「医療」「福祉」の専門家の方々の仕事について聞きました。その後、グループに分かれて、より深く詳しく話せる場となりました。

今後の取り組み

これからも福祉のまちづくりのために、いろいろな取り組みを進めていきたいと考えています。
こんなテーマについて「知りたい」「教えてほしい」「やってみたい」「みんなで話し合ってみたい」などを大募集中。いつでも気軽にお声がけください。

集いいね

やおたね　ほんわかマルシェ

今堀町で地域密着型のコンビニとして親しまれている『やおたね』でマルシェをしていると聞いて取材。広い駐車場がもったいない、なにかできないかな～というのがきっかけだそうです。インスタで出店者を呼びかけてみたらけっこう形になるくらいの応募があり今回で３回目。不定期開催ですが、近所・地元の方に楽しんでもらえたらうれしいとのことです。参加者は「歩いてこられるのがよい。いつもと違った品揃えもおもしろい」「続けてほしい」と楽しそう。夏は暑いので夜のマルシェをしました。年に２～３回ゆる～く開催できたらいいなと話されていました。

集いいね

19歳の酒プロジェクト

畑　大治郎さん（畑酒造）

お酒が飲めない 19 歳の時に田植え→案山子作り→稲刈り→酒造り体験。自分たちが携わったお酒で 20 歳の乾杯をしよう！というプロジェクトです。

Q 19歳の酒造りをはじめたきっかけは？何年目ですか？

A. 若い人の酒離れを引き止めたいと始めました。このプロジェクトは、畑酒造と京阪神の酒販店4社の合同企画です。今年で14年目になります。

Q 何名くらいが参加されてますか？男女の数は？

A. 年により変わりますが、平均すると30名くらいの参加者です。以前は、女性が多かったですが、最近は半々位です。大学生が多いですが、働いている方も参加されます。

Q どんな作業（仕事）をされていますか？

A. 田圃が初めてという方もいます
春　手で苗を植える　夏から秋　案山子を造り、手での稲刈り（脱穀は機械で）
冬　酒の仕込み体験
翌年3月までに20歳となり、自分たちで作ったお酒（19歳の酒）で乾杯しています。
（もちろん年齢は確認しています。）

Q 作業の中で、どんな話が出ていますか？

A. とりとめのない世間話です。皆さん興味を持って参加されてるので一生懸命にやっています。

Q 何か変った事はありますか？（学生さんは、畑さんは）

A. こちらが、いい刺激をもらっています。参加された方で、酒造メーカーに勤められた人や社会人になって店に来てくれる人もいます。嬉しくなります。

Q 20歳になった時は、どうしていますか？

A. 酒瓶に貼るラベルを作ってもらい、いい作品は「19歳の酒」と言う名前で販売しています。

Q これからも続けますか？

A. 続けていきます！ 募集は京阪神の酒販店さんがメインなので参加者は片寄っていますが、県内の方もいます。

Q ほかに何か言っておきたい（伝えたい）事は？

A. 市内のみならず市外の方にも参加して欲しいです。SNS でも発信していますので、ぜひご覧ください。お店でも販売していますのでご来店お待ちしています。

＜取材して感じた事＞
お酒を皆さまに（特に若者に）親しんでもらいたいという意気込みを知り、そのために懸命に取り組んでおられるのを感じました。お米づくりからその意気込みを知る事が出来ました。『若者よ畑酒造に来たれ』

元気に毎日歩く人たち

皆さん、今崎町に住む中野小学校の同級生です。（昭和29年卒業）

3人のご紹介

1. 小西さん　84歳
   よくおしゃべりをされています。ご主人を大事にされているのがよくわかります。畑でネギ・玉ねぎ・じゃがいも・ほうれん草などを作っておられます。
2. 小西さん　84歳
   楽しんで「デイサービスセンターけいあい」に行っておられます。若い頃は、マラソン選手として活躍されていました。膝などの手術をして、今は杖と仲間の応援で歩いておられます。
3. 小嶋さん　84歳
   小西さんを誘って、自宅から御代参街道を歩いておられます。

小西さんご夫婦

小嶋さん

Q 何故、歩こうと思われたのですか？

A. 膝などの手術をして杖が必要だが、妻や小嶋さんに誘われ自分の健康のために歩いています。（小西さん）

Q 歩かれる距離は？時間は？

A. 雨や雪の日は歩いていませんが、6000 ～ 7000 歩 10 年くらい続けています。（小嶋さん）
休憩を含めて 1 時間かけて 3000 ～ 4000 歩を歩いています。（小西さんご夫婦）

Q 歩いて変った事はありますか？

A. 元気でいられるのは、10年間変わらずに歩き続けられているからです。

Q 何をお喋りされてますか？

A. 中野小学校（同級生）の頃の話など・・・毎日変わらないですが！
時々、今堀町の中尾さんや芝原町の山中さんと出会い一緒に楽しく歩いています。

Q これからも続けられますか？

A. もちろん体が動くかぎり、誘いあって続けていきます。

Q 長続きの秘訣はありますか？

A. 小嶋さんが、みんなの健康のため誘ってくれるから続きます。（小西さん）

Q みんなに伝えたい事はありますか？

A. 地元の方に「歩こう！」と誘っていますが、なかなか歩かれません。歩いていると自然を感じ、口も動かして、元気になるよ～。是非ご一緒に。待ってま～す！

＜取材して感じた事＞
お出会いし話していると仲の良さを感じました。さまざまな人生を歩んで来られたと思いますが、昔の話を毎日して、思い出すことが、元気に繋がっているのかな？と思いました。これからも元気に続けてください。応援してま～す！

中野地区暮らしの便利帳

中野地区暮らしの便利帳　医療・福祉・子ども関連施設編

おざき内科医院	0748-23-1911	小脇町 2401-8
笠原レディースクリニック	0748-22-2101	小脇町 2401-6
出目医院	0748-22-2072	東中野町 1-12
宮路医院	0748-22-0055	西中野町 3-16
おおにし歯科クリニック	0748-22-5665	東中野町 10-14
住井第二歯科医院	0748-22-4567	昭和町1-18
東近江歯科	0748-20-0886	中野町 992-1

ウエルシア薬局東近江八日市支店	0748-20-3181	中野町 269
ファーマライズ薬局キクヤ小脇店	0748-23-0008	中野町 800-1
ユタカ薬局八日市	0748-20-2805	東中野町 314

山元鍼灸院	0748-22-0524	栄町 2-22
よしだ整骨院	0748-23-3360	小脇町 1012-1

「東近江市内　介護保健サービス事業者一覧」と「東近江市内医療期間・薬局一覧」が東近江市のホームページに掲載されています。
詳しく知りたい方はこちらから

詳しくはこちらから

アンサンブル	0748-43-2341	小脇町 1286-5
しみんふくしの家八日市	0748-22-7006	栄町 7-5
ヘルパーステーションハートピア	0748-34-1770	今崎町 21-1
ヘルパーステーション輝空	0748-34-0888	小脇町 2416-16-2
八日市地域包括支援センター	0748-34-1770	今崎町 21-1
たすけあい中野	090-2044-3352	
障害者支援施設あかね	0748-23-6776	小脇町 2089
障害者グループホーム蓮華草	090-5157-8726	東中野町 1-5-1

東近江市子育て支援センター	0748-22-8201	東中野町 4-5
箕作こどもの家	050-5802-8997	小脇町 464
布引子どもの家	0748-23-0061	今堀町 599-8
にじや	070-8943-2437	小脇町 468
学童みらいっこみつくり	0748-34-1871	昭和町 3-24-20
じゃんぷステージ	080-1457-8077	栄町 3-24
PoTeTo ふたくみ	070-5365-3358	昭和町 2-13